

情報提供日	平成 30 年（2018 年）8 月 23 日（木）
問い合わせ先	広島市植物公園 管理課 泉川、高井 栽培・展示課 井上（尚）、木原 TEL 082-922-3600

江戸時代の園芸文化を今に伝える 変化朝顔展

1 目的

江戸時代の園芸文化を今に伝える「変化朝顔」を栽培し、貴重な遺伝資源を保全するとともに、展示に活用することで、市民への普及啓発を図ります。

2 日時

8 月 25 日（土）～9 月 2 日（日）まで（金曜休園）

3 場所

広島市植物公園 展示温室

4 内容

当園では、昭和 57 年から「変化朝顔」の栽培・展示を継続しており、公的機関としては日本で一番長い栽培・展示の歴史があります。今年は約 50 種類 200 点の「変化朝顔」を展示します。

- (1) 広島市民有志「広島あさがお研究会」の会員が丹精して育てた変化朝顔の鉢や絵手紙などの作品を多数出品します。
- (2) 期間中の毎日 9 時～15 時まで、「広島あさがお研究会」の会員による解説と販売を行います。
- (3) 8 月 26 日（日）午前 9 時半～10 時半まで、職員による変化朝顔展の解説を行います。

変化朝顔とは？

変化朝顔は、珍しいもの好きだった江戸時代の人たちが発展させた園芸植物です。糸のような葉、多肉植物のような姿、撫子のような花、八重咲の花、一見アサガオに見えない珍しいものがあり、これらはみな突然変異によるものです。変異株は種子が採れないことが多く、系統維持には遺伝学的な知識が必要です。



黄飛龍葉紅覆輪流星獅子咲牡丹（きひりゅうば
べにふくりんりゅうせいししざきぼたん）



会員作成の絵手紙

※ アサガオは朝咲く植物につき、午前中の観賞をおすすめします。